

【一般就労部会】新型コロナウイルス感染症の影響について

1 事業所の業務や体制等（仕事のやり方や職員体制等）に関してどのような影響がありましたか。

■新たに生じた業務

- ・ 相談室等のテーブルや椅子のこまめな消毒
- ・ 実習・訓練生への検温確認

■無くなった業務

- ・ 余暇支援でのカラオケ活動や密な環境での食事会

2 利用者や家族に関してどのような影響がありましたか。

- ・ 在宅勤務や自宅待機が増えた事による、家族間のトラブル
- ・ コロナが怖く、精神的不調から退職につながるケース
- ・ コロナの影響で、就労先企業が業績不振により会社都合で退職になるケース

3 他の事業所等外部機関との関係や連携などに関して、どのような影響がありましたか。

一時期はネットワーク会議の回数が減ったが、業務に大きな影響はなかった。しかし、ここ数年発展的取り組みができなかったようにも感じる。

【施設就労部会】新型コロナウイルス感染症の影響について

1 事業所の業務や体制等（仕事のやり方や職員体制等）に関してどのような影響がありましたか。
■新たに生じた業務 <ul style="list-style-type: none">・ 事業所内の消毒作業、来訪者の検温。・ 緊急事態宣言下等において在宅支援を希望する利用者への対応。 ■無くなった業務 <p>特になし。</p>
2 利用者や家族に関してどのような影響がありましたか。
<ul style="list-style-type: none">・ 家族が感染して濃厚接触者となり通所を停止した事例があった。・ 家族とのコミュニケーションをとる機会が減少した。・ 事業所への通所により感染することに対する本人や家族の不安があり、通所が中断した事例があった。
3 他の事業所等外部機関との関係や連携などに関して、どのような影響がありましたか。
他の事業所と顔を合わせる機会が激減し、連携をとりづらくなったという声もある一方、今まではなかった他の事業所との職員間の連携をとるきっかけになったという声もあった。
4 これからの課題、及び課題に対する対応で必要だと思うことをご回答ください。
<ul style="list-style-type: none">・ コロナをきっかけとしたデジタル化への対応。・ 感染症対応を含めた事業所 BCP の作成

【子ども部会】新型コロナウイルス感染症の影響について

1 事業所の業務や体制等（仕事のやり方や職員体制等）に関してどのような影響がありましたか。

■新たに生じた業務

- ・ 喚起(換気)、消毒、清掃・検温・抗原検査など新型コロナウイルス感染予防対策
- ・ オンライン支援
- ・ 環境調整（密の回避、活動を行う際の人数制限等）
- ・ 事業所内で陽性者、濃厚接触者が生じた際の対応…職員体制が十分整わない中で、事業所運営の工夫

■無くなった業務

- ・ 移動支援など（利用者の急な体調不良等で）ヘルパー支援（派遣）のキャンセル（が増えた）
- ・ 利用児童の激減（児童発達支援事業所）
- ・ 保護者が参加できる親子行事などの中止
- ・ 制限（児童館・学童保育クラブ）
- ・ 会議等の中止、変更、縮小開催
- ・ 人が多い場所や大人数で行う行事やイベントの開催と準備

2 利用者や家族に関してどのような影響がありましたか。

（行動の制限）

- ・ 来所面談
- ・ 事業の延期や中止などによる、外出先の制限
- ・ 学校生活では、宿泊行事や、調理、プールなど密になる、また感染が考えられる状況になる活動の制限
- ・ 本人、家族が陽性、濃厚接触者になった際の課題（保育園休園に伴い療育を欠席せざるを得ない状況）
- ・ 保護者参加型の事業を実施する際、学年で分けたり等人数制限をして実施するが、兄弟で在籍する場合、2回参加しなければならなかったり、都合が合わなかったりすることがあった。

（家族支援のニーズの複雑化・深刻化）

- ・ 家庭環境の変化による保護者の心理的負担増、児童のストレス増
- ・ コロナ感染により（陽性、濃厚接触）、サービスが利用できない、孤立した家庭があった。

（アクセシビリティの制限）

- ・ 公共交通機関の利用を制限せざるを得ない。
- ・ マスク着用による影響（口の動きが見えづらいなど）
- ・ オンライン支援の環境が整っていない家庭がある。また、オンライン支援に適さな

い児童がいる。

(社会資源利用の困難さ)

- ・ 医療機関の受診、治療、隔離などに障害児ならではの困難がある。

3 他の事業所等外部機関との関係や連携などに関して、どのような影響がありましたか。

- ・ オンライン会議（ZOOM等）の活用
- ・ 電話の活用
- ・ 訪問時の面談の工夫（玄関ホール・公園）
- ・ 会議・研修等の中止により、自己研鑽の機会が少なくなった。
- ・ 他事業所との交流がなくなった（コロナ前は一緒に活動する機会を作っていた）

4 これからの課題、及び課題に対する対応で必要だと思うことをご回答ください。

(事業所運営)

- ・ 事業所の収入減に対する対応。特に訪問看護事業所の救済措置
- ・ 福祉サービス以外の支援機関の支援（抗原検査キット等の支給）

(家族支援)

- ・ 保護者のレスパイト
- ・ ひとり親家庭の支援
- ・ コロナ禍でも利用可能な社会資源の開発と確保

(アクセシビリティ)

- ・ オンライン環境の整備（不登校や来校できない生徒への活用など）

(感染対策)

- ・ 熱中症対策グッズ

(社会資源)

- ・ コロナ下でも支援が止まらない体制、仕組み作り。
- ・ 今後の事業展開をどのように実施していくか。

【意思疎通支援部会】新型コロナウイルス感染症の影響について

1 コロナの影響により、当事者の生活全般で困難となっていることをお答えください。

(失語症家族・支援者より)

- ・ 「当事者からは“あまり変わらない”という声が圧倒的な状況」 「コロナによる不便さより、元々生活上の困難が多いため、いつも大変だよという認識」 「家族同居の方は、全員在宅になる事が増え、居づらさや居場所が無いと声がある」

(視覚障害当事者より)

- ・ 「3密を避けた生活様式と言われ始めて久しいが、視覚障害の場合ガイドヘルパーが腕を掴んで同行したり、離れてしまうとマスクしている事もあってよく聞こえないことがあり、3密にならざるを得ないことから、落ち込んでしまうことが多くなった」
- ・ 「銀行等で用事を済ませる時に間隔をあけて並ぶこと自体が難しく、常に迷惑をかけないかと感じ、様々な不安から外出への気力減退や外出自体をしなくなってきた」
- ・ 「幸い近隣のスーパーでは自分のことをよく知ってくれていて、入り口あたりで右往左往していると店員と一緒に買い回ってくれるが公共料金の払い込みでコンビニへ行こうとするとワンオペなお店も多いため頼みづらく店員も面倒そうに接してくる事がある」
- ・ 「世の中が自粛自粛で外出している人が減った事で、夕方から夜間帯に道端で聞ける人が少なくなったことや、エネルギー事情によって切電する場所が多くなったことで、光を頼りに暮らしてきた全盲の方にとっては、自販機の光など手掛かりが消滅することに恐怖を感じる」

2 コロナの影響により、当事者を支援していく上で困っていることがあれば教えてください。

- ・ 「自粛の影響により集まれる場所が無くなったことで寂しさを感じる人が増えた」
- ・ 家庭内感染でヘルパーの介助を断らざるを得なくなり、10日間、家族だけの介護で過ごしたが、大変だった。
- ・ 介助者とソーシャルディスタンスが取れず、感染させてしまわないか不安が大きかった。

3 コロナの影響により、生じた良い影響があればご回答ください。

- ・ 「良いことは何もない」(失語症当事者・支援者)
- ・ 「今まで様々な郵便物の判別すら難しく、点訳仲間のボランティアの方が自宅へきて、行政の書類等代読や点字に起こしてくれていたが、その方が高齢な上、コロナの世の中になった事で自宅訪問自体出来なくなり、代わりに電話を使ったやり取りや状況によってドア越しに話しができるようになるなど、一人では難しい様々な意思の疎通を仲間が悲観せずに前向きに工夫して取り組んでくれるので、とても勇気づけられたことは良い点と感じている」(視覚障害当事者より)
- ・ 定期通院が毎月から隔月になったのは良かったと思う。

4 これからの課題、及び課題に対する対応で必要だと思うことをご回答ください。

(各当事者・支援者より)

- ・ 「今後予想されている災害（地震・風水害等）について、日頃から支援を受けていない人について災害時個別支援プラン作成が進まず、いざという時の備えに不安を抱く方がいるので、作成のお手伝いや整備をお願いしたい」
- ・ 「自分が住む地域でいざという時に実際頼りになれるご近所さんを作るため、当事者の会では、なるべく積極的に散歩に出て、人に会ったら常にこやかに振る舞い出来る範囲で挨拶するよう伝えているが、そういったことを定着していけるよう働きかけることが課題と感じている」

(視覚障害当事者より)

- ・ 近隣に住んでいると、例えばスーパーで買い物する際に、周りの方が私を気遣って善意で身体に触れてくることもあり、中には抱きかかえられたこともあったが、男性ならまだしも女性である身としては、時世柄恐怖を感じることもあり、善意で下さりありがたいことと理解はしているが、何が困っているかをさりげなく聞いてくれると、よりありがたいと感じている。
- ・ 在宅でリモート集会などに参加できるのは便利だが、ネットが使える人と使えない人の格差を感じている。
- ・ 区からのタクシークーポン券が増額されたが緊急事態宣言で外出できない間は使い切れなかった。

【相談支援部会】新型コロナウイルス感染症の影響について

1 事業所の業務や体制等（仕事のやり方や職員体制等）に関してどのような影響がありましたか。

■新たに生じた業務

- ・ 職員健康管理の徹底（毎朝の検温、定期的な抗原検査実施）
- ・ 訪問時の利用者様への体調（発熱、咳等）確認
- ・ コロナ陽性時の利用者、支援者間での情報共有、サービス調整 等（濃厚接触者も含む）オンライン面談の導入
- ・ 面談時の感染対策（検温・換気・手洗い・消毒 等）、備品設定、環境調整（密の回避、活動を行う際の人数制限等）
- ・ コロナウイルス感染予防対策の喚起
- ・ オンライン支援
- ・ 常に感染に気を配る精神的ストレスあり。
- ・ 職員の家族を含め感染しての出勤ができず、他の職員にモニタリングや会議など急に交替しての対応や延期などが生じ、利用者にも負担をかけたり、ご理解いただくことが生じた。
- ・ ZOOMでのモニタリングや担当者会議が行われるようになり、事業所へ出向く機会が減って、実際の様子がかみにくくなった。
- ・ オンラインでは支援が十分に届けにくい利用者に対しては、こまめに気にかけて電話をして状況確認をしたり、郵便、屋外での面談などの工夫をしている。

■無くなった業務

- ・ （望まない利用者様への）自宅訪問やサービス担当者会議の抑制
- ・ 対面での担当者会議などは、状況を見て開催有無を判断している
- ・ （感染が落ちついてからの訪問でいいか同意を得た上でだが）不急の訪問
- ・ 訪問して福祉サービスの利用中のモニタリング

2 利用者や家族に関してどのような影響がありましたか。

- ・ 三密を避けるためサービス利用の停止、抑制（利用者、事業者、従事者双方から要望）
- ・ 停止、抑制に伴う本人、家族負担の増加
- ・ 運動不足、外出の機会減少等による健康悪化（後遺症のあるケースも散見される状況）体重が増えて人に見られたくない、ますます、外に出たくないという悪循環にいる方がみられる。通所もできなくなっている方もいらっしゃる。
- ・ 入院している場合、ご家族・支援者含め、面会ができない。状態がよく把握できないまま退院を迎える不安を家族が抱えている
- ・ ヘルパー事業所職員のコロナ感染によりサービス提供ができなくなり、急遽他の事業所をあたらざるをえない事態となった。
- ・ 独居の方で通所できなくなった
- ・ 感染をおそれて外出に不安を感じる人がいた

- ・ 就労Bの利用者で、販売活動などのやりたい活動ができずモチベーションが維持できないことがあった
- ・ 本人や家族が陽性者もしくは濃厚接触者になったときに学校やデイサービスなどのサービスが利用できなくなり孤立感を感じた家庭が多かった。
- ・ 3年たち改善はされてきてはいるが完全ではない。
- ・ オンライン授業や父親の在宅ワーク等で母親の負担は増えた。
- ・ 本人、もしくは同居する家族がご高齢の場合、自宅訪問に難色を示されることがあった。
- ・ モニタリングや計画作成の面談、担当者会議の開催について、感染者が減った時にしたい、電話にしてほしいなど、対面を控えたいという要望があった。

3 他の事業所等外部機関との関係や連携などに関して、どのような影響がありましたか。

- ・ 利用者健康管理のための情報共有の深化。
- ・ オンライン会議の導入・増加
- ・ 事業所への見学に制約があり対面で話せないことによって、以前のような連携や関係性が薄れてきているような印象はあった。
- ・ 直接会っての会議、打合わせ等が減ってしまい、新しい事業所はもちろんのこと、顔を合わせる機会がなくなり、何気なくしゃべっていた中で交わされる会話で得ていた情報共有などができなくなり、連携が活性化しなくなったり、他の事業所の現状がつかみにくくなった。
- ・ 直接、顔を合わせる機会が減った時期があった。
- ・ 必要性に応じて短時間で対面で会議等を実施。
- ・ 多くの事業所が、直接会って話を聞くことの大切さや、オンラインなどの手段が柔軟に使えることの必要性を感じている。

4 これからの課題、及び課題に対する対応で必要だと思うことをご回答ください。

- ・ リモートワークの導入・仕組み作り
- ・ 電子署名の導入
- ・ お一人暮らしなどの場合、緊急時の支援体制の確認
- ・ ヘルパー事業所と訪問看護事業所の連携強化
- ・ 感染者や濃厚接触者の家庭の支援で孤立しがちな母子家庭や虐待のある家庭、医療的ケアのある家族への支援が医療職や行政とも連携しながら対応策をマニュアル化していければと思います。
- ・ 行政との ZOOM などオンラインでの会議
- ・ 感染症対策を講じた上での避難訓練
- ・ 相談支援事業所に職員が少ない場合（一人で行っているなど）コロナ感染の際どのように対応されているのでしょうか？そういった場合の行政からのサポートはありますか？